

what it looks like



ダイヤモンド採掘現場の様子

北シエラレオネはキンバーライト鉱筒(ダイヤモンドを含有した堆積層)として知られており、何千年も前に地球の中心部から貴重なダイヤモンドを積んだ貨物が運び出されました。キンバーライト鉱筒そのものは、近代的な露天掘りの採掘法でのみ採掘が可能ですが、地球の表面における多数の裂け目や割れ目の部分は、手で谷床の砂利をふるいにかけてダイヤモンドの採掘が行われています。従来、稲作や零細農業が行われていた河岸や最も豊かで平坦な谷床が、ダイヤモンドの採掘のために犠牲となってしまったのです。ダイヤモンド採掘現場を復元しようという地元社会の努力によって、採掘穴に混合土壌で埋めれば、ある程度の質の農業地が造成できることがわかりました。沖積層のダイヤモンドの採掘は、その他の採掘と異なり、化学物質や有毒物質を使用しません。



青年が、シエラレオネ共和国コノ県コイドゥで沖積層のダイヤモンド採掘穴をシャベルで掘っているところ。

what it looks like

沖積層のダイヤモンドは、砂鋤採取法によって発掘されます。砂鋤からダイヤモンドを抽出するための最も簡単な方法は砂金の抽出に似ています。採掘された鋤石をふるいの上で水と一緒にかき混ぜ、手でダイヤモンドを採取します。この過程で、化学物質は全く使用されません。



ダイヤモンドを採掘するために雇われた採掘労働者は、宝石を発見できなかった場合には、1日の労働代金として1皿の米に相当する代金が支払われます。ライセンス所有者は通常労働者に対し、取引価格ではなく、見積価格の1%を支払います。

http://www.onesky.ca/diamonds/diamonds_lookslike.html

what it looks like

沖積層のダイヤモンド採掘現場
の復元が義務化されていないた
め、採掘穴がそのまま残されて
います。



翻訳者 DeLingo